

## 福島第一原子力発電所1～3号機の原子炉注水量の低下事象について

平成24年8月31日  
災害対策本部原子力班

昨日（平成24年8月30日）、東京電力㈱福島第一原子力発電所から、1～3号機の原子炉注水流量が、原子炉の冷却に必要な注水流量を下回ったので、原子炉施設保安規定で定める「運転上の制限」を満足していないと判断したとの通報を受けました。

（別記1参照）

その後、流量調節弁を調整することにより各号機の流量は回復したものの、依然として流量が減少する傾向が継続しております。

現在のところ、必要注水流量は確保され、各号機の原子炉圧力容器温度等のデータについても有意な変動は確認されておりませんが、県として、東京電力に対し、引き続き、監視を強化しその状況を速やかに報告するとともに、早急に原因を究明し必要な措置を講じ、冷温停止状態の安定的維持に万全を期すよう求めてまいります。

【別記1】 福島第一原子力発電所1～3号機における注水量低下事象に関する通報連絡一覧（平成24年8月31日15時現在、福島県災害対策本部原子力班）

	通報連絡日時	通報内容
1	平成24年8月30日 FAX発信 15時24分 県受信確認 15時46分	<ul style="list-style-type: none"> <li>15時データで、1～3号機の原子炉注水量の低下を確認した</li> <li>1～3号機について、保安規定で定める運転上の制限「原子炉冷却に必要な注水量が確保されていること」の逸脱と判断した</li> </ul>
2	平成24年8月30日 FAX発信 17時46分 県受信確認 18時17分	<ul style="list-style-type: none"> <li>注水量の増加作業を行い、必要注水量を確保した</li> <li>原子炉注水系からの漏えいが無いことを確認した</li> <li>15時と16時の圧力容器下部の温度に変化は見られない</li> <li>プラントパラメータやモニタリングポストに有意な変動は確認されていない</li> </ul>
3	平成24年8月30日 FAX発信 23時05分 県受信確認 23時37分	<ul style="list-style-type: none"> <li>その後、注水量が安定せず低下したため、注水量の増加調整を行った</li> <li>22時の圧力容器下部温度、他のプラントパラメータには有意な変動は確認されていない</li> <li>今後、常用高台炉注水ポンプ(B)への空気混入の有無について確認する予定</li> </ul>
4	平成24年8月30日 FAX発信 23時45分 県受信確認 23時56分	<ul style="list-style-type: none"> <li>常用高台炉注水ポンプ(B)内に空気の混入は無いことを確認した</li> <li>23時の圧力容器下部温度、他のプラントパラメータには有意な変動は確認されていない</li> <li>今後、常用高台炉注水ポンプ(C)への空気混入の有無について確認する予定</li> </ul>
5	平成24年8月31日 FAX発信 0時07分 県受信確認 0時20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>常用高台炉注水ポンプ(C)内に空気の混入は無いことを確認した</li> <li>1号機と3号機については、低下傾向が見られるため、注水量の増加調整を行う予定</li> <li>23時30分の圧力容器下部温度、他のプラントパラメータには有意な変動は確認されていない</li> <li>今後の対応は検討中だが、引き続き注水量の監視を行い、適宜注水量の調整を行う</li> </ul>
6	平成24年8月31日 FAX発信 0時44分 県受信確認 1時21分	<ul style="list-style-type: none"> <li>1号機、3号機について、注水量の低下傾向が見られたため、注水量の増加調整を行った</li> <li>0時00分の圧力容器下部温度、他のプラントパラメータには有意な変動は確認されていない</li> <li>引き続き注水量の監視を行い、適宜注水量の調整を行う</li> </ul>